## iČÓNM 2540

## プロジェクトCHANGE 国際展開を見据えて



サビーナ・カデール副主幹研究員

iCONMに在籍する91名の研究者のうち、27%は外国籍です(2022年度)。彼らを束ねるのが在日歴12年のサビーナ・カデール副主幹研究員。これまでに90名近い外国籍研究員がiCONMを卒業し、世界各国で活躍しています。

サビーナさんはバングラ デシュの出身で、オースト ラリアのグリフィス大学で

博士号を取得後来日しました。iCONM設立当初より、抗がん剤搭載ナノマシンに関する研究実績を重ねながら、海外の研究機関や研究者をつなぎ、留学生等のマネジメントにも積極的に携わっています。多様な考え方や経験を基に議論が交わされる環境は研究の競争力を高める大切な要素ですが、サビーナさんの貢献によりiCONMでは人材のダイバーシティとインクルーシブな環境づくりが進みました。例えば、異文化・異分野のコミュニケーションを活発化するためのワークショップでは、外国籍研究者をリーダーとするグループを7つ作り、「リーダーの出身国でiCONMをPRするには?」というミッションのもと意見を出し合いました。これは、それぞれの国の文化や習慣を理解する機会となり、大変好評でした。その後も事務局スタッフと外国籍研究者が交流する機会が設けられています。

多様性の点で心がけていることをサビーナさんに尋ねると、「皆それぞれの色を持っています。様々な絵の具があるからこそ素晴らしい作品を描けます」と、各人の個性を大切にしているとのこと。さらに、このような経験が自身の研究にプラスになるとサビーナさんは続けます。「様々な背景を持つ人たちと交流することは好きです。気持ちがリフレッシュされ、研究により集中できます。専門性が広がることで自分自身の成長にもつながります」

2018年に国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) がスペイン研究開発イノベーション庁とともに公募した事業では、サビーナさんのチームの提案が採択されました。脳腫瘍や肥満の治療に関する研究をスペイン・カタルーニャ国際大学との共同研究として実施しており、昨年4月には同学と連携協定を結びました。そしてこの度、サビーナさんはグローバル・パートナーシップ

の主担当としてプロジェクトCHANGE\*の研究推進機構にも加わ

りました。同プロジェクトの国際展開においての活躍が期待され

ます。 \*プロジェクトCHANGE:

https://change.kawasaki-net.ne.jp/



カタルーニャ国際大学(スペイン)のロドリゲス准教授(左)とサビーナさん(右)











<お問合せ先>



公益財団法人 川崎市産業振興財団

ナノ医療イノベーションセンター

TEL: 044-589-5700

iCONM

検索